



国際センター通信 (No.3)

“土木学会 国際センター”を設置 - 国際活動の強化へ -

◆ なぜ国際センターか？(第99代 土木学会 会長 山本 卓朗)

国際センターを立ち上げた意義は、理事会での議論や国際戦略化会議での議論を通じて説明されてきたので、基本的には理解されていると考えます。しかし、従来の国際室と国際センターはどう違うのか、ということはまだよくわかっていないのではないのでしょうか。このことを理解するには、そもそもの学協会も、基本はソサイエティであって、実務を執行する機関ではないということを念頭に置く必要があります。学会事務局はプロジェクトを主導的に執行する組織ではなく、委員会ベースの活動を補佐する力しか持っていません。これは当然のことで、そもそも学会員の会費で運営されている委員会型ソサイエティですから、これ以上の組織力を持ち得ないわけです。ですから、学会内で完結しない政府機関まで巻き込む必要がある

ような政策的テーマは、せいぜい「提言」を作り公表するまでに留まらざるを得ないのです。震災以降、実に多くの提言が諸学協会から出されましたが、それを「実行段階」へ進めた機関は皆無（に近い）のではないのでしょうか。もちろん提言は重要ですが、実行を伴わないで終わってしまうところに難点があります。

さて土木国際化という巨大なテーマについては、長年にわたって学会誌の特集も生まれ、国際戦略が提起され、学会内外で多くの提言がなされてきました。しかし産学官にわたるこの難解な課題の解決を主導する“司令塔”が出来ないまま推移してきました。このため、ここ数年、にわかには土木国際戦略・インフラ輸出が叫ばれても、それを一元的に推進する組織とパワーが依然として我が国にはありません。我が国の土木国際戦略を強力に推進するには、専門分野を越えて産学官を糾合できる司令塔が必要です。産学官が支えるソサイエティである土木学会は、国際化のような大きなテーマを推進する“司令塔”足り得る適性を持っています。しかしその役割を、国際室という“学会内の国際活動をサポートするにとどまる”事務的組織では果たすことが出来ないのです。今回、国際室を模様替えし国際センターとして、学会外からも参画する“センター員”が主体的に活動できる実行型組織にしました。目下のところ要員も資金も不足ですが、土木学会が国際センターを突破口に、土木界の国際化を主導出来るパワー溢れる学会に変身するよう応援していただきたいと思えます。



【活動紹介】国際センター 留学生G

◆ 留学生Gの目標とこれからの取組み

日本で土木工学を学んだ留学生は数千人にのぼり、その多くは自国や世界各地で行政、コンサルタント、建設業など様々な分野で活躍しています。しかし、彼/彼女らと日本側がコミュニケーションを保ち効果的に協力しあえる体制となっているとは言えません。また、日本で学んでいる留学生が、学会を通して日本の土木工学についての知識を深める場は限定的です。留学生Gでは、これまで学会では力を入れてこなかった、現留学生へのサービス充実と、卒業した留学生とのネットワーク構築を通し、相互に学術、教育、実務など多方面で協調し連携できる基盤の構築を、既存の活動を拡張しつつ目指していきます。



土木学会 国際センター
留学生G リーダー
長井 宏平

具体的には、現留学生に対しては、サマーシンポジウム等の国際的な学術交流機会を設けるとともに、日本での就職について情報提供できるような仕組み考えています。卒業後にも、土木学会の国内外での活動を定期的に情報発信するとともに、個人、国別、地域別に土木学会および関係する活動で連携できる体制を整備し、更にこれを建設産業の国際展開のバックアップへも活用していく予定です。また、各国内でも卒業生同士が連絡を取り合える同窓会的な場を、これまでの海外分会活動を拡大する形で提供します。

留学生ネットワークの構築と活用には、継続的な努力が必要となります。目標達成には時間を要しますが、地道に着実に活動していけば、日本人と留学生、双方にとって意味のあるシステムになると期待しています。

【活動紹介】国際センター 国際交流 G ベトナム建設省次官 JSCE 訪問

去る7月31日にベトナム建設省（MOC）のギ副大臣（Mr. Nguyen Thanh Nghi）が来会されました。

土木学会からは小野会長をはじめ、大西専務理事、森地政策研究大学院大学教授といった方々が出席し、終始なごやかな雰囲気の下、盛況にうちに会談を終了することができました。

会談では、ベトナム政府をはじめとした VFCEA、VASECT、VIBRA 等の学協会と土木学会の関係が更に発展するよう互いに尽力し、引き続き支援していくことを確認しました。

土木学会 国際センターでは、今後も引き続きベトナムと積極的に交流を図り、2 国間の関係が更に親密になるよう、活動を活発化させていきます。



海外分会からのお知らせ

英国分会会員 齋藤大輔氏から近況報告をいただきました。齋藤氏の論文が、英国構造家協会の機関紙 “The Structural Engineer” に掲載されたとのこと。この雑誌の歴史は90年と古く、構造分野において非常に権威ある雑誌です。今回掲載された論文は、“阿波しらさぎ大橋”の設計に関する興味深いものであり、その橋の写真が雑誌の表紙を飾りました。日本の橋ないし構造物が表紙を飾ったのは今回が初めてのことです。それだけに齋藤氏の論文が素晴らしいだけでなく、日本の土木技術・技術者の活躍に対して海外から高い評価と認識を得ていることを示しております。齋藤氏は、別途、同誌で詳しく橋の施工技術をご紹介されますので、またこの通信でもご紹介したいと考えております。

このように海外で活躍を続けられる会員の方々を、学会として大いに応援すると同時に、さらに活躍の場を広げられるようなお手伝いをしたいと考えます。

The Structural Engineer:

- ・ <http://www.istructe.org/journal/volumes/volume-90/issues/issue-8>
- ・ <http://www.istructe.org/journal/volumes/volume-90/issues/issue-8/articles/design-of-awa-shirasagi-ohashi-bridge>

イベント情報

- ・ 8/28, 29 : 第1回 JSCE-VASET インフラ・シンポジウム@ハノイ
- ・ 9/3~12 : 2012 JSCE スタディー・ツアー (Study Tour Grant)
- ・ 9/3,4 : ACECC TC 16 on ITS 第一回会議@ バンコク・チュラロンコン大学
- ・ 9/5, 6 : 平成24年度 全国大会 (http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/49)
- ・ 9/5 : 第14回 インターナショナルサマーシンポジウム (http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/47)

- ・ 9月中旬：EIT-JSCE ジョイントセミナー@バンコク(構造工学委員会主催)
- ・ 9/25, 26：VFCEA-JSCE Joint Seminar@Hanoi (コンクリート委員会主催)
- ・ 9/27 : 国際建設マネジメント論② (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/management2012>)
- ・ 10/26, 27：第56回ヨーロッパ土木技術者評議会 総会@クロアチア in Croatia (<http://www.dubrovniksun.hr/prijave/ecce/>)
- ・ 10/29, 30：ICE-JSCE 共同国際シンポジウム：「大災害への回復力と適応性に優れた社会：市民の反応を考慮した社会資本整備」 <http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm>

お知らせ

- ◆ ACECC 6th CECAR @インドネシア・ジャカルタ (2013年8月20-22日) 開催されます。
<http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar>
- ◆ コンクリート委員会 ニュースレター No. 30 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/newsletter30/index.html>
- ◆ ご参考：土木学会誌 ミニ特集：“日本の建設産業は主要輸出産業になれるか？” (土木学会誌 Vol. 93, No. 9, 2008：<http://www.jsce.or.jp/journal/thismonth/200809.shtml>)

会長のつぶやき

2012年6月に国際センターが発足しました。私は国際センターが常にJSCEの国際活動の代表であってほしいと思います。国際センターの活動はJSCEと他国学協会との交流となるでしょうが、その交流は現実的かつ幅広いものであってほしいと思います。交流が海外における建設や外国の研究者との共同研究のような日本の土木技術者の国際活動につながってほしいと思います。

7月31日にベトナム建設省のNghi 副大臣が国土交通省と土木学会を訪問されました。我々も8月末にベトナム土木学協会とJSCEの最初のシンポジウムに参加します。

今後も産・学・官の人達の活発な交流が続く事を期待しております。

編集後記

国際センター通信 前号から今日まで、瞬く間に過ぎたようです。ベトナムのNghi 副大臣の訪問、小野会長、山本顧問、森地先生率いるJSC代表団のベトナム訪問、9月始めの全国大会、サマーシンポジウム、その後も各国協定学会の大会が続きます。盛りだくさんな季節です。これらの対応はIAC各活動グループの皆様のご協力をいただけて始めてできる。。。とつくづく感じています。先日、交流Gの第1回会議がありました。私のしどろもどろにグループの方々が見かねてサポートをくださるなど、ご迷惑をお掛けした、やや冷や汗ものの会議でした。まだまだ、ご面倒おかけしますことを先にお詫びさせていただきます。そして、気長にお付き合いいただけますようお願いいたします。(Y)。

【ご意見・ご質問】

より面白い通信にするため、皆様のご意見やコメントを聞かせてください。お待ちしております。

JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

【行事予定表(2012.9.11時点)】平成24年度 土木学会 国際部門

活動G		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
情報G					▽国際センター通信(No.1)	▽国際センター通信(No.2)	▽国際センター通信(No.3)							
国際交流G	全国大会							▽H24年度 JSCE全国大会(9/5~7@名古屋大学)	http://committees.isce.or.jp/s_iad/node/49					
	海外支部							▽海外支部会議(9/5@名古屋大学)						
	台湾				▽CICHE & JSCE交流会(6/11~13@台北)					▽CICHE Annual Conference 2012(11/6@台中)				
	韓国									▽KSCE Annual Conference 2012(10/24~26@光州)				
	ベトナム					▽ベトナム建設省次官(7/31@JSCE)	▽VASECT(8/28~29)			▽【建設マネジメント委員会】VFCEA Joint Seminar(11月予定@Hanoi, Vietnam)	▽VIBRA-MOT International Conference(12/14@Hanoi, Vietnam)			
	英国									▽【土木計画学研究委員会】ICE Joint Seminar(10月下旬予定@日本)				
	モンゴル				▽MACE年次大会(6/15~17@)					▽【土木計画学研究委員会】ICE Joint Seminar(11月予定@London, U.K.)				
	トルコ													
	インドネシア													
	タイ								▽【構造工学委員会】EIT Joint Seminar(9月予定@Bangkok, Thailand)					
	フィリピン										▽PICE Annual Conference 2012(11/22~24@Cebu, Philippines)			
	米国										▽ASCE Annual Conference 2012(10/18~20@Montreal, Canada)			
	その他										▽56th ECCE General Meeting in Croatia (10月26,27日@Grand Villa Argentina Hotel, クロアチア)			
教育G								▽【募集】国際建設マネジメント論①(8/23@JSCE)	▽国際建設マネジメント論④(11/22)					
留学生G								▽国際建設マネジメント論②(9/27)	▽国際建設マネジメント論⑤(12/21)					
特定G								▽国際建設マネジメント論③(10/25)						
特定委員会	ACECC 担当委員会							▽【募集:8/20迄延長! 第6回アジア土木技術国際会議】におけるプロジェクト賞候補および業績賞候補						
	学術交流基金 管理委員会							▽ACECC TC-15(河川環境) IAHR-APD特別セッション(8/19~24@韓国・済州島)						
	土木国際化 フォーラム (仮称)							▽ACECC TC-16(ITS) 第1回会議(9/3~4@チュラロンコン大学・バンコク)						
								▽ACECC TC-15(河川環境) ISE特別セッション(9/16~21@オーストリア・ウィーン)						
								▽ACECC 23rd ECM(9/21~22@Manila, Philippines)					▽ACECC 24th ECM(1~2月@台湾予定)	
								▽JSCE Study Tour Grant 2012(8/29~9/9@東京・名古屋・神戸)						